

INON

イノン ストレートビューファインダーユニット II for Nauticam

イノン製品のお買い上げ有難う御座います。

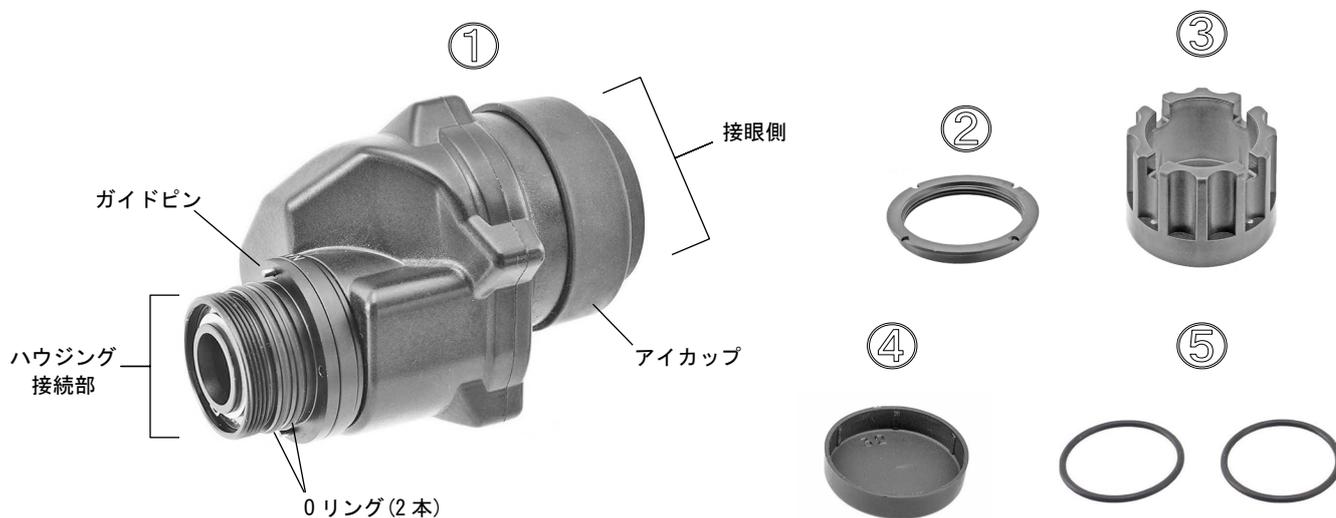
弊社ファインダーへ換装することで、Nauticamハウジングの保証が受けられなくなる可能性があります。事前にご留意ください。

製品の主な特徴

- 対応する Nauticam 社製ハウジングに換装可能なファインダーユニットです。
- フルサイズ一眼のファインダーに対応する、従来にない見えやすさを実現したストレートビューファインダー。
- 光の損失が少ない大型プリズムを採用し、各光学面へ減反射コートを効果的に施すことにより、隅々まで明るく、クリアな視界を確保できます。
- 光学式より視野角が広い、ミラーレス一眼の電子ビューファインダー (EVF) をも光学設計に盛り込んでいるので、EVF や高倍率ファインダーのカメラを使用した時に起こりがちな、四隅の光量不足や画質低下を、極力排除しています。
- ファインダー倍率は陸上と同じ 1.0 倍なので、無理に倍率を上げた際の収差や見難さはありません。
- 水中アイポイントは 60mm のハイアイポイント設計。マスク超しでもケラれることなく、快適に全視野を見ることが可能です。
- 大型プリズムを収納しているケース部には、肉厚な FRP (強化プラスチック) を使用し、小型軽量化と高強度化を両立しています。
- カメラのファインダー視度調整を超えた遠視や老眼のユーザー用に、別売オプションで内蔵型の視度補正レンズ (+1.5D) をラインナップしています。(後述)

製品内訳

- ・ ストレートビューファインダーユニット本体 ①×1
- ・ ファインダーユニット固定ネジ環 for Nauticam ②×1
- ・ ファインダーユニット専用工具 ③×1
- ・ レンズキャップ ④×1
- ・ 予備 O リング ⑤×2



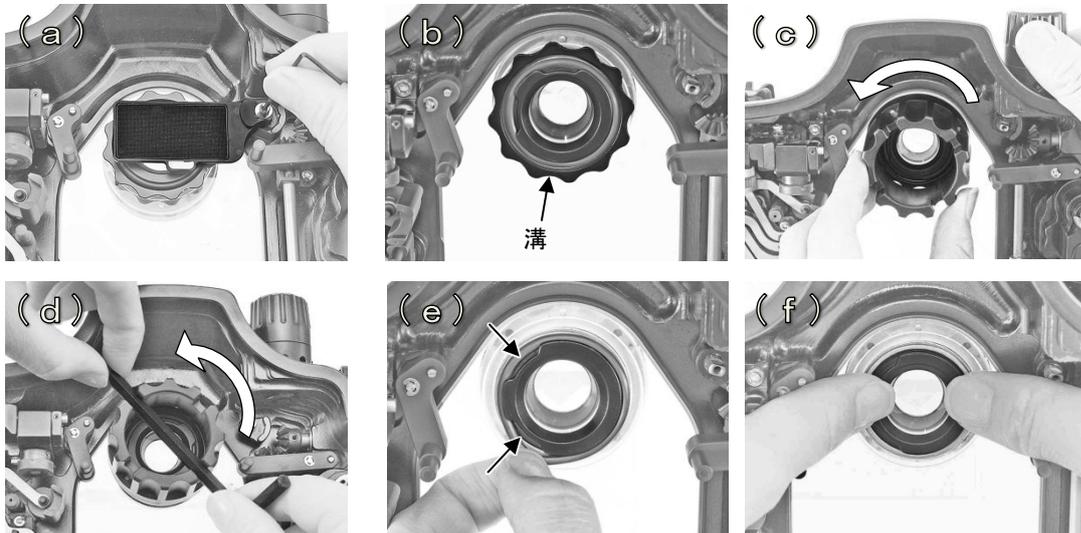
対応ハウジング : ・ Nauticam 社製の 下記カメラ対応ハウジング
(2020年10月現在)

デジタル一眼レフカメラ (DSLR)	デジタルミラーレス一眼カメラ (MIL)
全機種	ソニー社 α9 / α7RIII / α7II / α7
	ニコン社 Z7
	キヤノン社 EOS R
	富士フィルム社 XT3 / GFX50S
	パナソニック社 S1R / S1H
	オリンパス社 EM1X



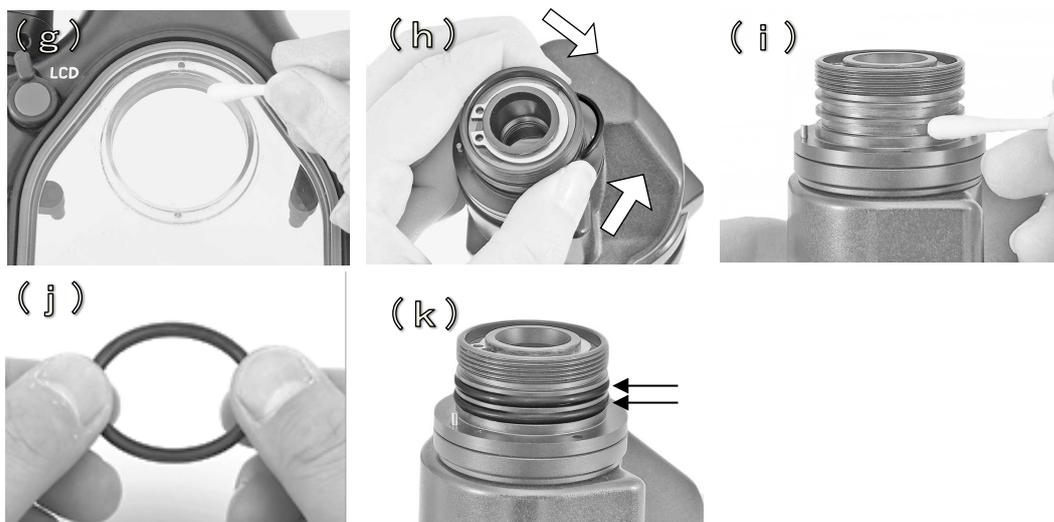
取り付け方法の動画はこちら

- ・ハウジングの内側から見て、ファインダー上部に「VF/LCD 切替レバー」のスクリーンがある場合は取り外します (a)。
- ・固定リングの溝 (b) に、付属の「ファインダーユニット専用工具」のピンを嵌めて、反時計方向に回して取り外します (c)。固定リングが固くて回しづらい場合は、専用工具の溝に金属の棒等を差し入れて回して下さい (d)。
- ・ファインダー接続部の保持用Oリングを取り外します (e)。(切り欠き部分から指で外せます)
- ・ファインダーをゆっくりと押し出して取り外します (f)。



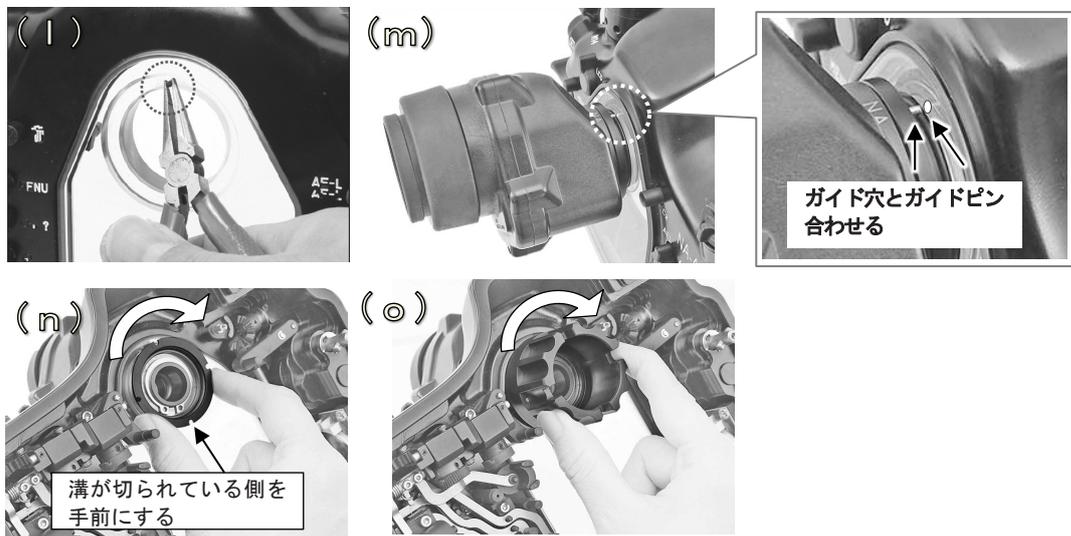
ストレートビューファインダーユニット取り付け前の準備

- ・ストレートビューファインダーユニット本体のOリング、及びハウジングのファインダー取付穴(Oリング接触面)に、キズや異物の付着等がないか点検を行って下さい (g, k)。
- ・ストレートビューファインダーユニットのOリングにグリスを薄く塗布して下さい (k)。
- ・Oリングを着脱/交換する必要がある場合には、下記の要領で行って下さい。
Oリングを左右から寄せて、持ち上がった部分をつまんでゆっくりと外した後 (h)、Oリング、及びOリング溝に、傷や異物の無い事を確認して下さい (i)。ハウジング付属のグリスを指先に少量取り、Oリングに薄く均一に塗り伸ばして下さい (j)。Oリングを交換する必要がある場合には、付属品の予備Oリングを同様に準備して下さい。Oリングにねじれない様にOリング溝に戻した後、今一度Oリング全体にねじれない事を確認して下さい (k)。



ストレートビューファインダーユニットの取り付け

- ・ハウジング外側にユニット位置決めピンが付いている場合は、ペンチ等で抜き取ります (l)。
こちらはビューファインダーユニットのガイド穴になります。
- ・ファインダー取付穴外周のガイド穴(上下)と、ビューファインダー側のガイドピンを合わせながら押し込みます (m)。この際、ファインダー取付穴のOリング面、及びビューファインダーのOリングを傷つけないように、ゆっくりとまっすぐに取り付けを行って下さい。
- ・ハウジングの内側から、付属品の「ファインダーユニット固定ネジ環」を取り付けます (n)。
- ・固定ネジ環の溝に「ファインダーユニット専用工具」のピンを嵌めて、締め付けます (o)。
- ・「ファインダーの取り外し」の項で、スクリーンを取り外していた場合は、再度取り付けを行って下さい (a)。



取り付け後の確認

- ・ご使用になる前には、ストレートビューファインダーユニットとハウジングとの間が気密に保たれている事を確認する為、必ず、清浄な真水(30°以下)を満たした風呂等に、組み付け後のハウジングを沈めて静置し、浸水がないことを確認して下さい。
- ・ファインダーの交換を行わない場合であっても、“ファインダーユニット固定ネジ環”の緩みなどが発生し、意図せぬ浸水／落下などの事故に直結する可能性がある事に十分ご留意の上、毎回の使用前に必ず増し締めを行って下さい。

取り扱いについて : ご使用時／ご使用後の取り扱いについて、ハウジングの使用説明書に記載の注意点に加えて、下記項目をお守り下さい。

● 太陽光が直接入射しない様にして下さい

カメラ本体にダメージを与える可能性がある為、直射日光が入射しない様にして下さい。

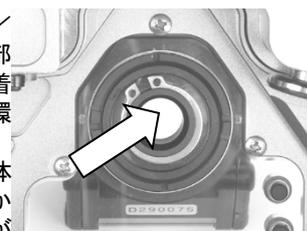
右図の通り、付属のレンズキャップを被せ(ストレートビューファインダーユニット本体が乾燥している場合のみ可能)太陽光が直接入射しない様にする事をお勧めします。



● 内部に水分／異物等を入れないで下さい

ストレートビューファインダーユニット本体のハウジング接続側は、防水／防塵構造となっておりません。水分や異物等の侵入を防ぐため、ハウジング内部を、常に異物等の無いきれいな状態にしておくと共に、ハウジングリアボディ着脱の際には、十分ご注意下さい。特に、水しぶきの掛かる場所や湿気の多い環境でのハウジングリアボディの着脱は極力避けて下さい。

やむを得ず着脱を行う場合は、ストレートビューファインダーユニット本体を組み付けたまま、ハウジングを真水で良く洗い、十分に水分を拭き取ってから、内部に水分／異物等が浸入しない様行って下さい。内部に水分／異物等が入った場合は、ご購入店を通して、修理をご依頼下さい。



● 分解しないで下さい

ストレートビューファインダーユニットは、高度な技術で組み立てられております。故障、水没事故等の原因となりますので、絶対に分解しないで下さい。故障した時や調子が悪い時には、ご購入店を通して、修理をご依頼下さい。

弊社以外で修理、分解、改造等が行われた製品は、弊社保証範囲外となります。また、当該行為が原因で発生した損害についての補償は致しかねます。

ご使用後のメンテナンスに関して : ご使用後は、必ずアイカップを外してから、ハウジング本体と共に、塩抜きを行って下さい。塩抜きを行った後は、ストレートビューファインダーユニット本体の接眼レンズの水滴をエアガン等で吹き飛ばし、必ず接眼レンズ面に水滴が残っていない事を確認して下さい。そのままの状態、直射日光の当たらない、風通しの良い場所に置き、乾燥させます(完全乾燥には数日掛かります)。アイカップは、ストレートビューファインダーユニット本体を完全に乾燥させた後、アイカップ自身も完全に乾燥している事を確認してから元に戻します。

保管方法に関して : 上記メンテナンス後、レンズキャップを被せ、ハウジング本体と同様の条件で保管します。

- オプション / 保守部品について** :
- ・ **視度補正レンズ [+1.5D] for 45VF-II/STVF-II**
カメラのファインダー視度調整範囲を超えて遠視や老眼の方に、調整範囲を(+1.5 ディオプター)シフトする視度補正レンズ。本ファインダーのマウント側の穴へ落とし、付属の工具で締めて固定します。(水中での着脱不可)
 - ・ **ファインダーユニット固定ネジ環 for Nauticam**
製品内訳画像中の②です。
 - ・ **X-2 ファインダーユニット専用工具**
製品内訳画像中の③です。
 - ・ **レンズキャップ**
製品内訳画像中の④です。
 - ・ **交換用Oリングセット(45VF/STVF for Nauticam)**
製品内訳画像中の⑤です。(2本セット)



■ファインダー取り付け作業のご依頼について

ファインダーの「取り外し・交換」をお客様ご自身でできるようになっておりますが、本作業がご不安な方は弊社でのファインダー取り付け作業も承っております。ご希望の方は弊社までお問合せ下さい。

連絡先：有限会社イノン TEL 0467-48-2174

ファインダー取り付け：¥5,000-(税別)返送費込
お支払い方法：代金引換または銀行振り込み
作業期間：受付から約2週間
お送りいただく際の送料はお客様のご負担となりますので、予めご了承下さい。

イノン ストレートビューファインダーユニットII for Nauticam 主要性能(*1)

名称	ストレートビューファインダーユニットII for Nauticam
全長 / 全幅 / 高さ (*2)	101.8mm / 72.2mm / 74.0mm
重量 (*2) [陸上]	305g
本体材質 / 表面処理	耐蝕アルミ合金 / 硬質黒アルマイト、PC等
硝材 / 表面処理	光学ガラス / 減反射コーティング
レンズ構成	3群5枚 + 高屈折率ポロプリズム 3ヶ
倍率 / 水中アイポイント	1.0倍 / 約60mm(陸上約45mm)
耐圧水深	100m

*1性能、価格等、予告なしに変更する場合があります。予めご了承下さい。

*2 アイカップを含み、レンズキャップを除く

株式会社 イノン 〒247-0061 神奈川県鎌倉市台 2-18-9
Tel. 0467-48-2174 / Fax. 0467-48-2178
E-mail support@inon.co.jp / URL <http://www.inon.co.jp/>
2020年10月

—— ファインダーの視度調整について ——

陸上は明るいので目の瞳孔は絞られており、被写界深度が深い状態です。この状態でファインダーの視度調整をしても、被写界深度内でセットしているだけであり“ジャスピン”ではありません。

これに対し暗い水中に入ると、瞳孔(絞り)は徐々に開いて被写界深度が浅くなり、結果的にピント調整機能が衰えた老眼の方はファインダー像が見えなくなります。個人差や年齢にもよりますが、暗順応で瞳孔が開くまで15分前後かかります。

水中より暗い陸上の部屋で、かつ瞳孔が開くまで15分ぐらい待ってから、カメラのファインダー視度調整をすれば、そこが“ジャスピン”となり、暗い水中で瞳孔が開いてもピントを合わせることができます。

適切な方法で事前に陸上で視度調整を行えば、高価となる水中での視度調整機能は必要ありません。
